

# 概算事業費の算出に関する資料

## 目次

1. 治水対策の概算事業費 .....	1
2. 流域対策概算事業費算出資料 .....	2
3. 新規ダム概算事業費算出資料 .....	3

表-1 用地補償単価

	三田地区（中流）	藍本地区（上流）
場所	三田市西野上	三田市藍本
用途	市街化調整区域	市街化調整区域
地目	宅地見込地	市街化調整区域内宅地
単価	47,500 円/m <sup>2</sup> （H17.7.1 現在）	23,700 円/m <sup>2</sup> （H17.7.1 現在）

## 1. 治水対策の概算事業費

治水対策の概算事業費（試算）

流出抑制、一時貯留対策	効果量（甲武橋）	工事費			補償費（協力費）			合計（億円）	1m <sup>3</sup> /sあたりの事業費（億円）	備考		
		1箇所当たりの単価	数量（施設数等）	小計（億円）	単価（円）	用地補償面積（m <sup>2</sup> ）	小計（億円）					
流域対策	学 校	12 m <sup>3</sup> /s	20 千円/m <sup>3</sup>	380,000 m <sup>3</sup>	76 億円	-	-	-	76 億円	6.33 億円	・ 学校貯留の単価は、代表的な箇所の積算から、新規治水容量に対し、20千円/m <sup>3</sup> とする（p2参照）。	
	公 園	2 m <sup>3</sup> /s	20 千円/m <sup>3</sup>	130,000 m <sup>3</sup>	26 億円	-	-	-	26 億円	13.00 億円	・ 公園貯留の単価は、代表的な箇所の積算から、新規治水容量に対し、20千円/m <sup>3</sup> とする（p2参照）。	
	ため池	57 m <sup>3</sup> /s	10,000 千円/箇所	108 箇所	11 億円	4,750	1,400,000	67 億円	78 億円	1.37 億円	・ 放流施設変更は代表的な箇所の積算から、一箇所あたり10,000千円とした（p2参照）。補償費は地役権として三田地区の地価の10%と仮定した。	
	水 田	28 m <sup>3</sup> /s	3,000千円/1ha	1,539 ha	46 億円	不 明		-	-	-	・ 代表的な箇所の積算から、3,000千円/haとする（p2参照）。	
	防災調整池	12 m <sup>3</sup> /s	2,000 千円/箇所	176 箇所	4 億円	14,250	356,000	51 億円	55 億円	4.58 億円	・ 防災調整池のオフィス改造の単価は、代表的な箇所の積算から、2,000千円/箇所とする（p2参照）。 ・ 県、市が所有の36箇所（面積470,000m <sup>2</sup> ）の補償費はなしとした。民有地（面積356,000m <sup>2</sup> ）については、三田地区の地価の30%程度で買い取ると仮定した。	
	森 林	数値化しない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	各戸貯留・浸透施設	数値化しない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	そ の 他 （駐車場、棟間など）	数値化しない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
河川対策	遊水地	(1) 結果として湛水	39 m <sup>3</sup> /s	-	-	-	7,110	679,000	48 億円	106 億円	2.71 億円	・ 掘削を実施する場合には、新規の治水容量に対し、過去の実績を参考に10千円/m <sup>3</sup> とする。 ・ 補償費は、掘削がある場合には買い取りを、ない場合には地価の30%で地役権を設定すると仮定した（地役権設定の対象となる『(1)結果として湛水』について、上流は藍本地区、中流は三田地区の地価を用いた。）。
		(2) 公共施設・都市施設	43 m <sup>3</sup> /s	10 千円/m <sup>3</sup>	220 千m <sup>3</sup>	22 億円	47,500	53,000	25 億円			
		(3) 河川施設	298 m <sup>3</sup> /s	10 千円/m <sup>3</sup>	2,730 千m <sup>3</sup>	273 億円	47,500	773,000	367 億円	640 億円	2.15 億円	
	利水ダム	417 m <sup>3</sup> /s	30億円~/箇所	5 箇所	不 明	不 明		-	-	-	-	・ 改造費は各ダムによって異なるが、過去の実績などを参考に一箇所あたり30億円～と推定される。ただし、大規模な千苅ダムの改造費は不明。また、青野ダムの改造費はなしとする。 ・ 補償費は不明。代替施設が必要となる場合もある。
		新規ダム	637 m <sup>3</sup> /s	-	-	-	-	-	-	301 億円	0.47 億円	・ 積算根拠は、p3参照。
	河道対策	河道分担（3100m <sup>3</sup> /s）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		河道分担（3500m <sup>3</sup> /s）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
河道分担（3700m <sup>3</sup> /s）		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
河道分担（4400m <sup>3</sup> /s）		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

## 2. 流域対策概算事業費算出資料

表-2 各流域対策施設の概算事業費のまとめ

対象施設	概算工事費 (千円)	原単位単価 (千円/m <sup>3</sup> ) 又は(千円/箇所)	摘 要
学 校	35,000	20 千円/m <sup>3</sup>	1,800m <sup>3</sup> 程度の容量を、校庭貯留により確保した場合の工事費を算出。
公 園	38,000	20 千円/m <sup>3</sup>	2,000m <sup>3</sup> 程度の容量を、公園貯留により確保した場合の工事費を算出。
ため池	9,300	10,000 千円/箇所	ため池において、水位低下させた場合の余水吐等の工事費を算出。
水 田	3,000	3,000 千円/ha	1ha の水田において、貯留機能を持たせた場合の工事費を算出。
調整池	2,000	2,000 千円/箇所	防災調整池において、オリフィスを改造した場合の工事費を算出。

表-3 流域対策（学校貯留）概算事業費

学校貯留概算工事費内訳		
費 目	工 種	金額(千円)
	土工	23,000
	排水施設工	6,000
	仮設雑工	6,000
概算工事費		35,000

概算工事費は諸経費込み

表-4 流域対策（公園貯留）概算事業費

公園貯留概算工事費内訳		
費 目	工 種	金額(千円)
	土工	25,400
	排水施設工	6,300
	仮設雑工	6,300
概算工事費		38,000

概算工事費は諸経費込み

表-5 流域対策（ため池水位低下）概算事業費

ため池改良概算工事費内訳		
費 目	工 種	金額(千円)
	水路工	6,800
	構造物取壊し工	400
	仮設雑工	2,100
概算工事費		9,300

概算工事費は諸経費込み

表-6 流域対策（水田貯留）概算事業費

水田貯留畦畔改良工事費内訳		
費 目	工 種	金額(千円)
	畦畔改良工	2,500
	仮設工	320
	雑工	180
概算工事費		3,000

概算工事費は諸経費込み

表-7 流域対策（防災調整池）概算事業費

防災調整池改良概算工事費内訳		
費 目	工 種	金額(千円)
	オリフィス改造工	2,000
概算工事費		2,000

概算工事費は諸経費込み

### 3. 新規ダム概算事業費算出資料

表-8 新規ダム概算事業費

項目	細目	工種	金額(千円)
建設費			29,500,000
	工事費		16,600,000
		ダム費	15,500,000
		管理設備費	600,000
		仮設備費	400,000
		工事用動力費	100,000
	測量及び試験費		2,200,000
	用地及び補償費		10,500,000
		補償費	6,600,000
		補償工事費	3,900,000
	機械器具費		50,000
	営繕費		150,000
事務費			600,000
概算事業費			30,100,000

各工事費は諸経費込み